

サポートネットワーク第3回シンポジウム

わが町で共につながる

- 何故つながろうとするのか -

どなたでも
参加できます

支えあって
共に生きる
地域をめざして

参加無料

要申込み
(定員300名)



10月7日(土) 13時00分~16時30分
(受付 12時30分)

◆プログラム(予定)◆

13:10 ◆実践発表

①仕事のスキルを活かしたボランティア

本木 勉 氏(プロボノ・ビジネスパーソン)

②地域の中で非分類協働の暮らしを

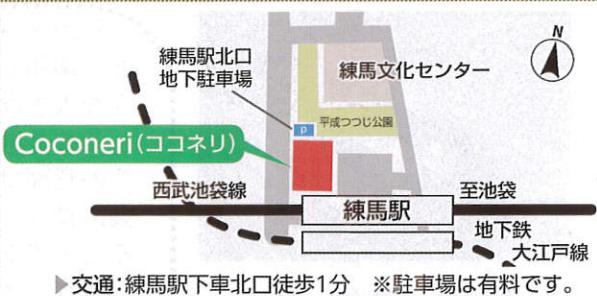
明星 マサ 氏(社会福祉法人つくりっこ家理事長・精神保健福祉士)

③麻雀店経営を通して地域貢献

山崎 晋 氏(しあわせ麻雀道場代表・手話通訳士)

会場:ココネリホール

東京都練馬区練馬1-17-1 3階



申込み: 申込書(チラシ裏面) FAXにて受付
電話・メール・HPでも受付可
申込みはお早めに、定員300名
電 話: 03-5399-2201 (平日9時~17時)
FAX: 03-5398-1490
担 当: 渡部・中島
(練馬キングス・ガーデン)
メール: event@kg-tokyo.or.jp
H P: http://www.kg-tokyo.or.jp/

13:55 ◆座談会(質疑応答タイム含む)



15:05 ◆講演

「わが町で共につながる -何故つながろうとするのか-」

尾山 清仁 氏(聖書キリスト教会牧師)

15:55 ◆質疑応答

16:15 ◆アピールタイム

後援 ルートル学院大学・学校法人聖学院・いのちのことば社・クリスチャン新聞・キリスト新聞社

はこぶね便事務局・キリスト者学生会(KKG)・NPOホサナ・日本イエス・キリスト教団関東教区シニア部

協賛 玉の肌石鹼株式会社・ミヨシ石鹼株式会社・社会福祉法人練馬区社会福祉協議会

社会福祉法人練馬区社会福祉事業団・東京基督教大学・株式会社今西組・ケアスタディ株式会社

株式会社ウチダシステムズ・デンタルサポート株式会社・ニック練馬営業所

富士見式典 こころの会・株式会社創世ライフワークス社

主催 社会福祉法人キングス・ガーデン東京



シンポジウム 実践発表

仕事のスキルを活かしたボランティア



本木 勉 氏
プロボノ
ビジネスパーソン

会社勤めなどをしながら、自分のスキルや経験を活かしたボランティアを「プロボノ」といいます。私は2016年、「プロボノ」として練馬キングス・ガーデンさんの中庭活性化のお手伝いをしました。中庭「エデン」はその後ますます素晴らしいなられており、大変嬉しく思います！

普段の会社勤めとボランティアを両立させることは、時間的な制約から難しいことが多いものです。また、必ずしも自分のスキルにマッチした活動ができるとも限りません。ただ、その分やりとげたときの充実感も高く、得るものもたくさんあります。どのようなプロボノの実体験をお話しできたらと思います。

地域の中で非分類協働の暮らしを



明星 マサ 氏
社会福祉法人つくり
っこ家の理事長
精神保健福祉士

学生時代に脳性マヒの方に初めて出会ったことで、自分の中にある偏見の大きさに気づかされて以来、知らないことで否応なしに持ってしまっている偏見が自身のテーマとなりました。

「できることから始めよう」と様々な人たちが出会い、知り合う場として自宅を開放した「つくりっこ家の家」を1978年にスタートしました。多様な人たちと「共に生きる」ことの試行錯誤を続けていく中で「障害がある人とない人」から「すでに障害がある人とまだない人」という考えに辿り着きました。活動は来年で40周年を迎えます。

麻雀店経営を通して地域貢献



山崎 晋 氏
しあわせ麻雀道場
代表
手話通訳士

私は練馬駅の近くで麻雀店「薰風」を経営しています。平成13年に脱サラして若者向けの店を開店しました。それから3年後閉店を決意し契約期間の残り6ヶ月をお年寄りや障害を持った方に開放し30年以上暮らす練馬に恩返しして転職と考えました。しかし無料ゆえに警戒され、区報への告知も個人の商売の応援は公平性を欠くと断られました。がらんとした店を見ながら、ボランティア活動をするのも意外に難しいのだなと考えさせられました。そんな時に「つくりっこ家の家」の明星さんやメンバーの方と会ったことで薰風の人生が変わりました。なぜ変わったのか、どう変わったのかをお話したいと思います。

講演 「わが町で共につながる-何故つながろうとするのか-」



尾山 清仁 氏

聖書キリスト教会牧師
キングス・ガーデン東京
協力牧師
NPOホサナ理事

私のモットーは、日本一敷居の低い教会を作ること。そして、そのことと関連して、一生の間に日本の教会がこれまでに想像もしなかったような大きな失敗をやらかしてみることです。

その失敗というのは、次の世代が「バカなことを考えたものだ。でも、その意図は解る」と思ってくれるような試みです。そのために、地域社会に役立つことであれば、それがキリスト教と全く関係がないと思われることであっても提供する努力を惜しません。

教育、スポーツ、芸術、趣味、カウンセリング、社会福祉事業などはもちろんですが、特に意識していることは、どんな人でも等身大の自分が受け容れられる居場所を見つけ、また、自分なりに何か人の役に立つことを発見できる安全な場所をご提供する取り組みです。

そのため、リーダーたちが、率先して正直に自分の弱さや失敗の分かち合いを励行し、まず自分たちにとって教会が安全かつ必要な場であることを日々確信できるように心がけています。

参加申込書 FAX : 03-5398-1490 (申し込みはお早めに、定員300名)

氏名		人數	名
所属		電話	